

『新年にあたって』 野幌若葉自治会長 小田島篤

新年明けましておめでとうございます。日頃より若葉自治会の活動にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、去年は元旦より能登半島を震源に致しました巨大地震が発生し、その復興さ中に重て、豪雨災害が発生し、大混乱中で復興活動も未だまったく途半ばの状態でございます。

江別でも我が野幌地区は幸いにも水災の心配が少ない地区でもございます。しかしながら、予てより予測されております、地下に眠る長大な活断層帯による直下型の大地震に対しましては、未だ備えが十分だとは思えません。『自助』『共助』『公助』の観点から致しまして『共助』の部分に該当するのが自治会活動です。

そこで当若葉自治会は何を来る巨大地震に対して準備しなければならないか真剣に考え、具体化し実行していく時期でも有るとあらためて思います。

これには他自治会の色々な取り組みを参考にし、我が自治会会員の様々な意見を伺い、今何をすべきか判断して行く事が肝要です。

また、『公助』にあたる江別市側にも自治会員の考えを取りまとめして野幌若葉地区全体の意見・要望として強く働き掛ける事が大切だとも思います。

災害は忘れた頃にやってくる、元旦でも真冬でも、震災は時期を選らぶ事無くやってきます。新年の今こそ心新たに、能登の大震災を教訓にした行動をする時期だとわたくしは強く思います。

最後になりますが若葉自治会会員家族全員のご健康を、また実り多き一年で有ります様心より祈願申し上げます。



『新年会開催』 総務部

1月18日（土）コロナ禍後2回目の新年会を自治会役員、民生委員、見守り隊の方々にお集りをいただき、オードブルを囲み1年の始まりをお祝いしました。

少しお酒が回ったところで、ビンゴゲームとカラオケ大会で盛り上がりました。また、今回の景品は昨年に引き続き懐中電灯等の防災グッズをお配りしました。

今年は、年が明けてから非常に雪が少なく暖かな冬となっておりますが、何時天候の変化及び災害が襲ってくるか分かりません。

大きな災害が発生すると自治会が果たす役割も大きくなります。普段から地域活動への参加、近所との交流を深め、助け合える環境を築いていきたいと考えております。

今年一年、会員の皆さまにとって良い一年になりますことをお祈りしております。



『若葉子供見守り隊慰労会開催』

生活安全部

12月21日(土)「若葉子供見守り隊」の活動に対する謝意を込め、見守り隊員7名をお招きして、小田島会長他3名の自治会役員で慰労会を開催しました。「若葉子供見守り隊」は、平成23年8月発隊以来、年間を通し児童の安心・安全を願い、登下校での交通誘導・警戒活動を行ってまいりました。

歓談では、隊員の皆様から増員要望や活動中における問題点等が出されました。特に、高速道路に架かる橋及び自治会館わきの歩道の除雪が不十分であり、また、自治会内の生活道路である歩車道の区別の無い道路が通学路になっており、この道路を通学時間帯に自家用車の通行があり、危険となっている等、小学生の安全に対して、多くの意見が出され、今後の自治会としての見守り活動の取り組みに大いに参考となる意見が寄せられました。

なお、10年以上活動された5名の方が、石狩地区交通安全推進協議会から表彰されることになった。

また、来年も北海道の施策での表彰があるので、今年該当しなかった方、申請漏れの方について、来年申請をします。と佐藤生活安全部長及び千葉副会長から説明があった。

会員の皆さまもご自身のペースに合わせ、活動に参加して見ませんか。

興味のある方は、各区長または生活安全部までご連絡ください。



『若葉小学校での見守り活動感謝の会』

若葉子供見守り隊

12月24日の若葉小学校二学期終業式に於いて、若葉見守り隊、東野幌第一自治会見守り隊、PTA 栗野会長他4名参加のもと、学童代表、高橋校長他教員の参加の中、体育館で、「見守り活動感謝の会」が開かれました。

400人からの学童はインフルエンザ大流行にて教室にて遠隔集会となりましたが、各自に感謝状並びに感謝品の「靴下」を渡され暖かい言葉を頂きました。

見守り隊を代表して、若葉見守り隊の鈴木氏が「冬休み中も安全に過ごし、来る三学期は元気に登校して頂きたい」と会を結びました。

